

令和8年5月定例教育委員会 会議録

- 1 日 時 令和8年5月7日（木） 午前9時37分～11時20分
- 2 場 所 十四山支所 2階 会議室
- 3 出席者 教育長 高山典彦 ・ 教育長職務代理者 阿部康治 ・
委員 浅野美喜子 ・ 委員 矢野浩一 ・ 委員 宇佐美貴江
- 4 説明者 教育部長 渡邊一弘 ・ 教育部次長 吉川 博 ・
学校教育課課長 藤井清和 ・ 学校教育課主幹 三浦 聡
学校教育課主幹 児玉やこ ・ 生涯学習課長兼総合社会教育センター館長兼十四山スポーツセンター兼南部コミュニティセンター所長兼白鳥コミュニティセンター所長兼十四山公民館長 飯塚義子・
部活動地域支援コーディネーター 安江利成
- 5 書 記 学校教育課課長補佐 日原友美
- 6 傍 聴 人 0人
- 7 議事概要

（1）開 会

（学校教育課課長より）

令和8年5月の定例教育委員会を始めます。教育長、よろしくお願いします。

（2） 前回議事録の承認

（3） 教育長報告

(教育長より)

本日は、いつもと場所が替わりまして十四山支所にお越しいただきました。会が始まる前に、この4月に移転しましたアクティブを見学していただいたと思いますが、いかがだったでしょうか。ずいぶん面積的にも広くなりましたし、相談がしやすい環境ということで個別の部屋を3つ、そして学習ができる、特に中学生がテスト前になったり、受験前になると、勉強に集中する子がたくさんいますので、そういったコーナーも設けましたし、和室は畳敷きのくつろげるスペース、そういったものも用意したところでありますので、子どもたちにとっては、行きたくても行けない子にとっては、いい場所になるのかなと思います。室長に年度初めの状況をお伺いしたところ、中学生が2人、小学生が2人ということです。例年、これくらいからスタートして、親御さんも学校も4月くらいは学校になんとか行けないかとアプローチをしてくださっていますが、やはりなかなかそれも無理強いできるものではありません。よく言われる「5月病」ということで、ゴールデンウィークが明けたところで少しずつ、学校に行きたくないな、朝起きるのがつらいなという子が増えてくると少しずつ入室希望者が増えて、夏休みになり、また夏休みが明けたらまた増えるということで年間を通して復帰したり、新しく入ったりという子が増えたり減ったりしながら、1年間、ここでの活動が続いていくわけです。覗いていただければと思います。

(4) 教育長専決

(学校教育課長より)

教育長専決を報告させていただきます。

【非公開】

(5) 議 事

ア 「弥富市立学校の教育職員に関する業務量管理・健康確保措置実施計画」の策定について

(学校教育課：資料3)

(教育長より)

弥富市立学校の教育職員に関する業務量管理・健康確保促進実施計画の策定につきまして、以前、出されたものが、また新たな形で提案となります。学校教育課、よろしくをお願いします。

(次長より)

どこが変わったかというところ1ページの下に表があります。これは7年度の時間外在校等時間の状況ですが、ここが空欄でありましたが、この数値が入りました。まずは、表の中の7年度1年間の1人あたりの時間外在校等時間月平均については、教育職員から事務職員や短時間勤務者を除いています。その教育職員の時間外在校等時間の平均が月、小学校で33時間48分、中学校で50時間9分です。市全体として41時間53分という結果が出ました。また右の欄ですが月45時間を上回る教育職員の割合は小学校で25.1%、中学校で51.7%。平均すると33.1%。さらに月80時間を上回る割合が小学校で1.2%、中学校15.0%、市全体では5.7%という結果になりました。ここにはございませんが、時間外在校等時間が年360時間を上回る人数も出しています。それが小学校で50.0%、中学校で82.2%、市内全体で61.2%という結果でした。また健康リスクの値というのは集団のストレス状況を数値化したものです。全国平均が100。例えば公立学校共済組合のストレスチェックを全国で非常にたくさんの学校が取り組んでいますので、その膨大なデータの中から出た平均を100とすると、それをこの計画では95以下にしていこうということです。8年度の状況に応じて11年度までの目標値の設定をしていきたいと思います。これで数値が入りましたので、また総合教育会議にも出した後に公表していこうと思っています。

(矢野委員より)

保護者の受け止めというのはどうなのかと思う。ライフワークバランスということで業務の仕組みとして必要だし大切だと思うし、学校の中ではこうやっていろいろ工夫しながら改善をしているんだけど、保護者はどういうふうに関心を持てるかなとちょっと気になる。ちょっと保護者にもなんらかの機会にPTA総会でもいいんでしょうし、PTAの本部役

員会なんかでもいいかと思うんですけど、それとなく情報を発信していただいたほうがいいのかなと思いながら聞かせていただきました。

(宇佐美委員より)

プリントでいただくのもいいんでしょうけど、ちょっとお話をしていただけるといいのかなとは思いました。

(教育長より)

業務管理をして浮いたというか、時間を何に使うか。もちろん先生方が早く学校を出て、自分の健康管理をするのが目的なんですけども、やはり教員たるもの、そこで授業の質を上げていかなくてはいかんと思うんですね。保護者が、結局、前と全く授業の内容が変わらない。授業の進め方だったり教材に対する先生の理解だったりが変わらなければ、結局、先生たちは楽しんでいるだけじゃないと、とられかねないので、やはりここで生み出された時間を教材研究、勤務時間内で教材研究をする時間だったり、興味を引き付ける教具を作ったりとか、そういったところに使う必要はあるのかな。これについてはお認めいただいたということで、先ほど次長の話にもありましたが、今後は総合教育会議で市長、副市長にもご報告をして進めていくということでよろしいでしょうか。ありがとうございました。

イ 「弥富市認定地域クラブ活動の認定に関する要綱」の策定について

(学校教育課：資料4)

(部活動の地域支援コーディネーターより)

資料4をご覧ください。弥富市認定地域クラブ活動の認定に関する要綱です。これは国が定めた要件を満たして市町村から認定を受けた休日の中学校部活動に代わる地域クラブ活動というもので、弥富市認定地域クラブ活動という名称で呼ぶことになります。弥富市認定地域クラブ活動の認定に関する要綱ですが、これは文科省から出ている雛形を踏襲した形です。弥富市としてここはこうしたほうがいいというのがもしあれば、ご意見をいただけるとありがたいと思っていますところです。

(教育長より)

今、進めております部活動地域展開について、まず要綱を整える必要があるだろうということで、文科省が示している雛形を使って作っていただいた案の案というんですか

ね。この方向でよろしいですかというご提案でした。いかがでしょうか。

(宇佐美委員より)

この申請書とかは、毎年申請される形になるのですか。本当にそのクラブはいいのかどうかというのを評価しなきゃいけないですよね。実際、中に入ってみないことにはわからないと思うんですけど、中身は誰が見てくれるんだろうとか、客観的に見てくれる人というんですか、それがあるのかなとか。

(部活動地域支援コーディネーターより)

そうですね。指導者研修もプログラムにして、これは毎年やっていく。いわゆる巡回指導ですよね。要件に則ってやっているかどうか。定期的に巡回を行う予定をしています。有効期間については今後検討していきます。

(宇佐美委員より)

保護者のあいだで土日の部活動がなくなったあとの大会の引率とかは誰がしてくれるのかなと、先生たちは土日はノータッチになるんですかというのはちょっと出ています。

(部活動地域支援コーディネーターより)

教員が関わりながら、それがどこまでどういくのかというのが、まだまだ難しいところです。いずれにしても大会などに関しては、教員の引率は必要ではないかと思っていますところ。

(矢野委員より)

部活というのは学級経営と同じくらいのウエイトがあったんじゃないかと思うんですけど、それを地域の方にどの程度お願いをするかということも、ちょっと精査しながら考えていかなければいけないと思いながら聞いておりましたが。

(部活動地域支援コーディネーターより)

学校に説明に行きながら意向を聞いたりしていこうかなと思っていますところ。また指導者研修を充実していく必要があると考えています。

(教育長より)

たくさん課題がありますけど、こういった要綱を作りながら、いろんな意見を交わしながら進めていくということではよろしいでしょうか。

ウ 後援について

① 第 63 回道徳教育研究会

海部津島モラロジー事務所

(学校教育課：資料 5)

(学校教育課課長より)

団体名は海部津島モラロジー事務所。事業名第 63 回道徳教育研究会です。事業目的は、道徳教育を柱とする研究会を通じて学校、地域、家庭などにおける心の教育の充実と発展に寄与。テーマ「道徳教育の新たな充実を目指して」。場所は、あま市の美和文化会館。参加者範囲は海部地域、対象者は教育に関心のある方、参加人数 80 人。参加料無料。実績は令和 6 年度に申請実績あり。

② はじまりの WITH プロジェクト 2026～12 の想いと 8 のアート～

はじまりの WITH プロジェクト

(学校教育課：資料 6)

団体名は、はじまりの WITH プロジェクト。事業名は、はじまりの WITH プロジェクト 2026、12 の想いと 8 つのアート。事業目的は、市民が自ら働きかけ、市民がまちづくりの先頭に立つきっかけを作ること。事業内容は運営に関わるメンバー一同が作り上げていく過程で「12 の想い」を醸成する。また、8 つのアートとして①から⑧に関する内容を展開する。①うみだす、②みがく、③つたえる、④うるおう、⑤つながる、⑥かんじる、⑦まもる、⑧つみかさねる。開催日時は 11 月 8 日。(この日は海南こどもの国の秋まつりと同時開催予定) 開催場所は三又池公園とそれに接する十四山総合福祉センター。参加対象者は海部津島地域に住む一般住民、参加予定人数 1 万人。(毎年かなりの人数の方が参加) 入場料、参加費無料。

③ 青少年等ボランティア福祉体験学習

社会福祉法人 弥富市社会福祉協議会

(学校教育課：資料 7)

団体名は、社会福祉法人弥富市社会福祉協議会。事業名は、青少年等福祉体験学習。

事業目的はボランティア活動を希望する中学生、高校生等を対象に地域や社会福祉施設等でボランティアの体験学習を実施する。これによりさまざまな課題に気づき、自身との関わりや交流を通じた地域の一員として自覚の醸成、そして「共に生きる力」を育むことを目的。事業内容は各福祉施設等でのボランティア活動体験。開催日時は7月から11月の間に行う予定。開催場所は各施設等。参加対象者は市内の中学生及び高等学校の生徒、教諭、その他ボランティア活動に関心がある方、約200人を予定。参加費等無料。

④ 令和8年度面接相談事業

公益財団法人愛知県教育・スポーツ振興財団

(学校教育課：資料8)

団体名は公益財団法人愛知県教育・スポーツ振興財団。事業名は、令和8年度面接相談事業。事業の目的、不登校や発達障害傾向のある子ども、その保護者及び関係者を対象に講座や集団カウンセリング等を通じて問題の解決を図るための助言、援助を行う。事業の内容、不登校の理解講座、不登校に関する講演、集団カウンセリング、発達障害理解講座、発達障害セミナー。開催日は発達障害理解講座8月9日(日)、場所、本市の「みなともまちなか交流館」。承認実績 令和7年度にも承認。

⑤ ものづくり工場見学×おしごと体験

盟和精工株式会社

(学校教育課：資料9)

団体名は盟和精工株式会社。事業名は、ものづくり工場見学とおしごと体験。事業目的は地域の子どもたち及び保護者に対し、ものづくりの現場を見学、体験する機会を提供すること。製造業への理解と関心を高めるとともに、働くことの意義や楽しさを感じてもらうこと。地域企業として地域社会とのつながりを深め、将来の人材育成及び地域産業の活性化に寄与すること。事業の内容は、工場見学及びものづくり体験を通じて、製造業の仕事や技術への理解を深めるイベントとして以下の内容を行う。工場内の見学、製造工程の紹介、ものづくりの体験(真鍮キーホルダー等の制作)、社員による仕事紹介及び交流、安全管理のもとで体験プログラム(五感を通じてものづくりの魅力を体感でき、参加者が主

体的に学べる機会構成)。開催日は7月24日(金)。場所は楠にある「本社工場、及び湾岸工場」の2箇所で行う予定。参加対象者は市内及び近隣地域の小学生4年生から6年生及びその保護者等。参加費無料。

⑥ 2026 夏 アズワンワンダースクール 自然体験教室

特定非営利活動法人 アズワン

(学校教育課：資料10)

団体名は特定非営利活動法人アズワン。事業名は2026夏アズワンワンダースクール自然体験教室。事業の目的は親子、家族、家庭という最小単位のコミュニティに対して自身のアイデンティティと価値観をしっかりと認識させること。それぞれの異なる地域、人種、民族の相互交流、相互理解、相互認知を深めるための事業を行うこと。これらを円滑になしとげるための基盤づくりを支援する事業を行うことによって人に優しくすることと調和のとれた社会の再生に寄与すること。事業内容は別紙の開催概要にいくつか紹介。参加対象者は小中学生。昨年、弥富市からの参加は4名あった。入場料、参加費等さまざまなコースがあり、3万6千800円から5万7千800円である。承認実績は令和7年度に実績がある。

⑦ 第24回弥富ドンチキチン祭り

弥富ドンチキチン祭り実行委員会

(学校教育課：資料11)

団体名は弥富ドンチキチン祭り実行委員会。事業名は第24回弥富ドンチキチン祭り。事業の目的は弥富の祭り、文化芸能の伝承と後継者の育成。事業内容は各地区祭り、囃子披露、太鼓体験など。開催日時は令和8年8月29日、場所はウイングプラザパディの東駐車場。入場料、参加費等無料。

⑧ 第31回弥富吟剣詩舞発表会

弥富吟剣詩舞連盟

(生涯学習課：資料12)

(生涯学習課課長より)

第 31 回弥富吟剣詩舞発表会です。漢詩や和歌に節をつけて吟じて踊るという、吟と舞踊のコラボレーションの発表会が 5 月 24 日（日）に社教センターホールにて開催されます。内容として県内外の高い技量を持たれる先生や団体をゲストとして招いて開催するものです。全国吟剣詩舞道団体 60 人の方が参加して行われます。参加料として 2 千円を徴収されますが、会場費、資料費、お茶代など吟ずる講師を招くための適正な交通費、謝礼ということお聞きしています。経費として扱い、主催者側には利益は出ないものです。過去に承認実績はございます。

⑨ 第 48 回尾張西部コーラスグループ交歓会

コール朱音

（生涯学習課：資料 13）

文化協会加盟団体のコーラス部、コール朱音（あかね）です。第 48 回尾張西部コーラスグループ交歓会です。海部地域の 8 グループ、135 人による各グループの歌唱力向上と交流を図る交歓会です。6 月 28 日（日）社会教育センターホールにて開催されます。参加無料です。コール朱音としての活動は施設の慰問などありますが、今回海部地域 8 グループの交歓会というのは初めてで承認実績はございません。

⑩ NPO 法人はぐくみ こども食堂事業

NPO 法人はぐくみ

（学校教育課：資料 14）

団体名は NPO 法人はぐくみ。事業名は NPO 法人はぐくみのこども食堂事業。事業の目的は、1. 育ち盛りの子どもがお腹を空かせないように食事の支援を行う地域ボランティア活動。2. 貧困により学習につまずき、自信をなくした子どもの早期発見により自信を取り戻せるよう学習支援を行う。また、子どもと直接関われる遊びを取り入れ学習支援を通じて、会話の中からヤングケアラーや虐待等の早期発見・必要な支援への接続を図る。3. 食糧支援、物価高騰で思うように食品を買えず、満足に食事が提供できない家庭や、コロナ禍で収入減した親子の食料を支援する。参加対象者は弥富市内在住または、近隣町村在住の子どもとその保護者等。入場料、参加費等 300 円。（弁当代として寄付をいただいて

いる) 事業内容は令和8年に新設され、よつば子ども食堂として令和10年度から4小学校(十四山東部小、西部小、大藤小、栄南小)が再編されるにあたり、児童や保護者に多くの希望と不安が生まれることが考えられる。そのため、それらの気持ちをみんなで共有できるコミュニティが必要であるとして設立。実施場所は南部コミュニティセンターの調理室や和室、ホール等。日時 第4火曜日。承認実績は令和7年度に実績がある。

学校教育課に関する後援については以上です。

エ 社会教育団体登録について(1件)

(生涯学習課:資料15)

(生涯学習課課長より)

施設使用料の減免を希望する団体の減免承認をよろしくお願いします。弥富バレージュニアと言います。弥富スポーツクラブが2分の1の料金をいただくことになりましたが、その中の活動として子どもの団体は10分の9で使えますよと決まればそのままなんですが、やっぱりどこの団体も歩調を合わせるために、この団体は10分の9、この団体は2分の1、この活動の状況によっては2分の1だったり、10分の9だったりということはないので、団体名で活動料金を決めますので、となると、弥富スポーツクラブが2分の1になるのではないかなということを懸念して団体登録を出されたという内情があります。私はこれ、あってもいいのかなと思いますね。全く1からの団体ではないので。これまで長いあいだ支援してきたので。

(教育長より)

当面、こういった形で子どもたちの活動の場を教育委員会としては確保したいということでもよろしいですか。では料金は10分の9でお認めいただいたということで。議事に関して用意したのはすべて終わりました。

(6) その他

ア 学校教育課関係について

(教育長より)

学校教育課関係から。

(学校教育課主幹より)

再編関係について。4月20日(月)、22日(水)に再編4小学校のPTA総会における個別説明会を学校教育課で実施。プール解体後の水泳指導についてどうなるか複数の質問が保護者からあった。その他スクールバス、よつば小学校のPTAについて、給食の白衣や体操服はどのような形になるのか等、よつば小学校の学校生活に対する具体的な質問もあった。別紙資料として、小学校再編に係る資料を作成した。5月26日に本年度最初の小学校再編委員会を開催予定。

(教育長より)

学校のプールの老朽化が進んで、十四山西部小学校も工事エリアに重なっているので、先行して十四山西部小学校については、今年度からプール指導を外部委託するということでやっていきたいと思います。契約するところは当然室内の温水プールですので、天候には左右されないので暴風警報さえ出ていなければ予定どおりやれるかなと思いますし。またプールのためだけではなくて、指導もインストラクターにお願いするものですから専門性の高い指導は受けられるでしょうし、また先生方も当然引率をしてプールサイドからの観察というのですか、声掛けもしますし、安全面に対する目も増えるわけなので、そういった面ではプラスの面が多いのかなと。

イ 次回日程について

(学校教育課長より)

次回は、6月3日(水)午前9時30分、市役所4階会議室1で開催、次々回は、7月8日(水)午前9時30分、市役所の3階の会議室で予定しております。

(7) 閉 会

(教育長より)

以上で5月定例教育委員会を閉じさせていただきます。